



# 学校は、今…

SCHOOL REPORT 12  
国際理解教育の  
取り組み

子どもたちの生活の中には、英語などいろいろな国の言葉があふれています。今回は、日本以外の国の言葉や文化を知るために、日ごろ取り組んでいる国際理解教育をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

レッツ エンジョイ イングリッシュ

## Let's enjoy English! (田原東部小学校)

本年度から、5・6年生は週1回の英語の授業が始まりました。Let's enjoy English!を合言葉に、「ビッグボイス(大きな声で)」「ビッグスマイル(笑顔で)」「アイコンタクト(目を見て)」「ビッグアクション(大きな動作で)」を目指しています。英語を書くことや読むことよりも、ゲームや歌、ダンスを中心にして、英語ならではの会話の響きやコミュニケーションを楽しむことを大切にしています。

A L Tのジェニファー先生が久しぶりに来校し、初めは恥ずかしそうにしていた子も、一緒に歌って踊ってゲームを楽しむうちにパワーアップ。いつもの元気が出てきました。「最後のゲームがおもしろかったです。わくわくドキドキしました」「ビッグボイス・ビッグスマイル・ビッグアクションができてよかったです。ゲームがとても楽しかったです」など、子どもたちからは笑顔あふれる感想が聞かれました。



▶ゲームの進め方を聴く子どもたち



▶先生とゲームを楽しむ子どもたち



▶自己紹介をするポイントグレイ校の生徒たち



▶田原中学校の生徒とゲームを楽しむポイントグレイ校の生徒(左)

## ポイントグレイ校との交流 (田原中学校)

4月にカナダのポイントグレイ校から20名の生徒が田原市を訪れ、その中の4名が田原中学校へ来校しました。ホームステイをしているホストスチューデントのクラスに入り、4日間の学校生活を過ごしました。

3年生の英語の授業では、ポイントグレイ校の生徒たちにも授業に参加してもらいました。初めのうちは、お互いに緊張していたようですが、簡単な自己紹介ゲームをするとすぐに打ち解けた雰囲気になりました。授業では、日本の名所の写真を見せながら英語で説明することに挑戦。苦戦しながらも、ジェスチャーやアイコンタクトで、お互いに英語でコミュニケーションを取ることができたようです。

授業で英語を学んでいる生徒たちですが、こうして実際に話そうとすると、「本当に通じるのかな?」と不安になるようです。一生懸命に英語で話し、気持ちが通じ合ったときの生徒たちの表情はとても生き生きとしていました。